

講演会の感想

- ・当初テーマからして堅いイメージであったが、聞いていて飽きないおもしろい地域おこしに参考になる講演であった。せつかくの講演会であるのに参加者が少ない。もう少し参加者を増やす工夫をすると今後の地域の活性化につながると思う。
- ・企業等からの CCRC ではなく、住民からの CCRC を作るべきであることが分かった。(小さいところから広げていくことを考えていくことが重要。)
- ・地域の医療福祉の話が分かった。次回もぜひ！
- ・地方創生の基本となる考えはここにあると思った。
- ・行政との関わりをどのようにするべきか？地方創生の原点など。
- ・地域づくりに役立つ話でした。本当にありがとうございました。きっと活かしていきます。
- ・考え方が型にはまらずステキなアイデア。“自分たちが納得すれば自分たちで動く” 自分たちで作っていかないといけないですね！がんばります。
- ・「コミュニティデザイン」ということを初めて聞きました。人々を活気づかせ、やる気を起こさせる力に驚くばかりです。その人（人達）に出来ることを引き出し、アイディアを出し合い、ワークショップを行い、協力し合いながら未来につないでいこうとするプログラム、感激しました。すばらしいです。
- ・色々な地域の取組み、おもしろかったです。プロジェクトの発想、作り上げる過程（プロセス）、参考になりました。
- ・日本全国、がんばって楽しんでいる人々がこんなにいるんだと、お話の中でワクワクでした。何か、自分の地元でできないかな、地域の人みんな元気になれることがしたくなりました。
- ・想いの願いつなぎや人生の楽しみ、個人の生活の中でどう生きがいがあるか、前向きに声をあげてやっていくかと考えさせられた。地域のイベントが大切だと思う。
- ・実践を通して具体的な取組方法を知った。楽しい講演、元気がでる講演と思った。
- ・地域住民を巻き込み、自分たちが生きがいをもてる取組みを考えさせることの必要性が大切であるということが再確認できた。具体的事例を紹介しながらの講話で分かりやすかった。
- ・あっという間の 80 分でした。ワークショップ、大切ですね。
- ・おもしろかった。もっと堅苦しい話だと思っていたのに、すごいスピードある話し方、地域医療に関係ない話が良かった。
- ・地域の活性化のプロジェクト等のアイデアがとてもすばらしかった。地域住民の手作りのイベントで全国へのネットワークが人々のコミュニティーを活性化させていることがよかった。

- ・非常に有意義な話でした。多くの人に聞いて欲しかった。
- ・地域づくりの原点を学ぶことができた。高齢化と人口減少により、限界集落が予想される中、今後のコミュニティデザインの大切さが理解できた。
- ・おもしろかった。地域を元気にする仕掛けのヒント、考え方が分かった。楽しんで、好きなこと、得意なことで地域みんなが関わることが良いなと思った。
- ・元気の出るお話でした。(地域活性化のための) 実践するための手順(必要なこと)をもっと知りたいと思いました。自分の思いを行動に出していきます。ありがとうございます。
- ・地域の人々が本当に理解して“町”を作っていくと、いいものが出来るんだなあ実感。うちの町にも入って欲しいです。
- ・もっともっと地域が活性化できるか、と分かりやすく説明があつてよかつたと思います。小さな地域でも周囲のやる気、協力で、どれだけ活性するのかと参考になりました。
- ・その時だけでなく、その先を考えて関わることで、地域の方や病院スタッフがずっと続けられるのが良い。とてもおもしろいお話でした。ありがとうございます。
- ・山崎先生の発想のすばらしさには驚かされました。
- ・おもしろかつたし、何か出来そうな気がしてきました。“遊びの心”を地域の人々と共有して地域活性化に努めたいと思います。
- ・とてもおもしろい講演でした。自分たちで活動できるサポートをする。コミュニティデザインを自分たちで行う。それをお手伝いする山崎さん、すごいと思いました。何人で会社を運営されているのか気になりました。
- ・とても勉強になる講演会であつた。プロがすべてを高いレベルで技術を提供するのではなく、地域住民が新たなスキルを獲得でき継続できるように、住民に合わせた技術を提供していく、ということはとても大きなヒントになった。
- ・本当にすばらしいお話でした。医療の立場では見えていないものや、あり方に、たくさん新たな視点を得ることができました。自分たちの仕事の部分では諦めていた部分も、実はまだまだ手段があると思わされます。「何かを始める」のプロセスのまず第一段階の重要性が少しだけ分かりました。「モノ、カネ、の前に人と時間を集める」大事な視点でした。
- ・“まちづくり”について勉強になりました。生活支援コーディネーターの配置や、ボランティアの育成が謳われる中、どのように育てて動かしていくのか先行き不安でしたが、「出来るんだ」というイメージを持つことが出来ました。
- ・地域の未来は自分たちで関わるワークショップ、理想です。病院に対しての地域の声を聞きたいです。地域の人々が主！人があつて病院は成り立つ。
- ・山崎さんの本を読んだことがあります。実際に山崎さんのお話を聴けて具体例に出た地域の方たちの想いや勢いなど、本だけでは感じられなかつたことが聴けてよかつた。
- ・平戸の地域医療にどう活かせるか分からないが話はおもしろかつた。
- ・とても分かりやすく行動のきっかけになると思いました。

- 人と人のつながりが出来てつながりがコミュニティとなり、そこから大きな力となって活動を動かす元になっている事を感じています。“させられている”ではなく、自分たちが何をしたいか考え実行する楽しみを持つことが出来れば、継続させる力がつくのではないかと感じています。
- のろし、おかんアート、お寺でのワークショップ…コミュニティデザインには様々な形があるのだな～、とてもおもしろい！と思いました。2020年聖火リレーの隣でのろしリレー！とてもステキで見てみたいと思いました。アイデアを出すことはとても苦手なのですが、あまり深く考えず「あっ、こういうことやりたい」と不意に思うことがコミュニティデザインに繋がっていくのかな、と感じました。
- 講演でのケーススタディを聞き、そのコミュニティの人の願い（楽しいこと）を実験するチャンスを大きくした上で、多方面に良い効果を波及させられることがベストであり、最終的な成功であると感じました。一方で、これまでにコミュニティデザインを行う上で失敗したと思った事例や、後からプロジェクトに対する別の考えが出てきた、などの話も機会があればお聞きしたいです。